

区分2 女性活躍関係(e-ラーニング型)

(サブタイトル) 企業経営の原理をオンラインで学び、復職の準備策を議論するプログラム

(開発した訓練の特徴等)

訓練の内容:e-ラーニングシステムとテレビ会議システムを活用したケースメソッドによる同時双方向でのライブ議論中心の授業。モジュール1,2の2階層に区分し、1において授業を開講、2において修了課題であるケースの作成およびキャリアカウンセリングを実施。

訓練の対象となる業種・職種等: 出産・育児等により一時的にキャリアを中断した女性で、職場復帰を希望する者。

(受講のメリット)

- ・職場で使えるスキルをブラッシュアップできる。
- ・家事や育児との両立において重要となる時間管理能力を向上させることができる。



(実施した時の環境等)

訓練の内容:

- ・モジュール1 ビジネススキル向上に向けた5つのテーマの授業
- ・モジュール2 修了課題作成指導およびキャリアカウンセリング

募集期間: 2019年7月9日～8月15日

応募人数: 63人

受講人数: モジュール1 47人(選考により受講者を決定)
モジュール2 17人

受講日時:

- ・モジュール1 2019年9月18日～1月28日 平日昼間(11:00～13:00)
- ・モジュール2 2020年1月30日～3月24日 平日昼間(10:00～12:00)

社会人受講生のための配慮:

- ・授業を録画し、受講生専用ウェブサイトで授業後2週間配信

区分2 女性活躍関係(e-ラーニング型)

(訓練を実施する上で注意する点)

訓練の内容:

- ・ケースメソッドという教育手法で教授できる講師の確保。
- ・同時双方向でのライブ議論中心の授業であるため、欠席しないよう事前周知するとともに受講者の選抜も検討すべき。

訓練時間数:

- ・1回あたりの時間や総受講期間を考慮して設定した方が良い。
- ・受講対象者に応じた開講日の設定が必要。

(訓練を実施する上で推奨される取り組み事例)

キャリアコンサルティングの実施:

- ・授業の受講後、修了課題への取り組み前の時期にキャリアカウンセリングを行ったことにより、授業を振り返りながら修了課題への取り組みに向けた意識付けができた。



(受講者等からの声)

- ・自社と自身の置かれている状況を客観的に見つめることができた。
- ・長期におけるキャリアビジョンが明確になった。
- ・復職して一般職にしたいという女性が多く、こういった講座は活用を検討したい。
- ・管理職の男性にも参加してほしい。

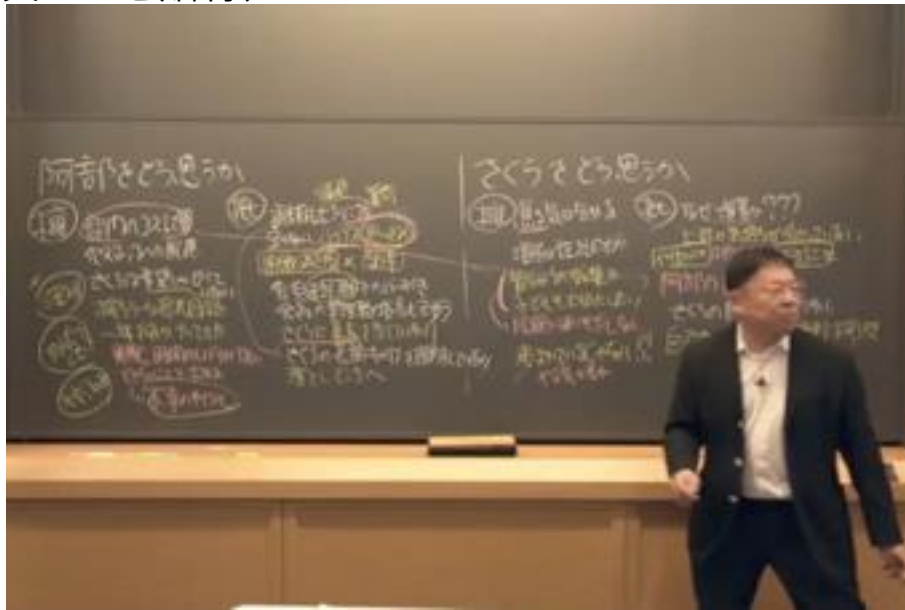
(開発者) 学校法人栗本学園 名古屋商科大学大学院

(詳細・問い合わせ先)

厚生労働省HP: https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_15217.html

厚生労働省人材開発統括官付参事官室(若年者・キャリア形成支援担当)中長期的キャリア形成支援係 03-5253-1111(内線5390・5398)

(写真のみを貼付)



同時双方向でのライブ議論では板書も効果的です



同時双方向でのライブ議論を行うための設備



子どもをあやしながら授業に参加する受講生も



教材や連絡事項はすべてオンラインで共有されます